

## 文化となり得る「地域性」を！

日本でTV放送が開始されて、50年。NHKでは、ほぼ一日特集番組が放送されていた。その中で「日本紀行」のコナがあった。コメンテータは、「50年前頃までは、地域の中で人々が寄り添い、支え合う『良き日本の地域性』あったし、まさにそれは一つの文化であった。しかし、私たちの向かっている社会は、その良さがさらに乏しくなりつつある。今一度『地域』を取り戻し、日本人の心の原点を再確認できないか。」というようなコメントを述べていた。

一方、今しきりと、高齢者問題、障害児（者）問題で、「地域で」、「地域で」とお題目のように云われている。なら、「地域の中で人々が寄り添い、支え合う」という地域性の復活に、これらの問題は起爆剤となり得ないであろうか？

単に地域にこれら問題への対応としての制度、施設等を作るだけでは、「地域」でないような気がする。

こうしたハード面を一つの機会（手段）として、文化となり得るソフト面を人々がどうお互いに育てるかこそ、地域の特性（目的）と成り得ると思うのだが、いかがなものだろうか。

（2003年02月02日記）